社会貢献活動

野村不動産グループは、地域社会と密接に関わる事業を展開しており、その地域で暮らし、働くさまざまな人々によって支えられています。そうした人々と信頼関係を築き、より良いコミュニティづくりに貢献することは、事業を展開していく上で最も大切なことの一つであると認識しています。
こうした認識の下、地域の皆さまの交流の場や、子どもたちへの教育・文化支援の場をつくるなど、事業特性を活かしてさまざまな取り組みを行っています。
また、東日本大震災の被災地に対しても、地域住民やNPOの皆さまと協働しながら、復興支援に継続して取り組んでいます。

東日本大震災復興支援

- 被災地への寄付・寄贈
- 復興支援イベント

地域社会への貢献

- 事業を通じた社会貢献
- 青少年育成への取り組み

東日本大震災復興支援

被災地への寄付・寄贈

福島の親子のための保養キャンプに「かやぶきの里プロジェクト」のお米を寄贈

野村不動産グループは、「かやぶきの里プロジェクト」で収穫したお米の一部を、福島の親子のための保養キャンプに寄贈しました。福島県では、現在も放射性物質の影響により、子どもたちが屋外で遊ぶことを一部制限されるなどの状況が続いています。このキャンプは、ボランティア団体「母ちゃんず」が、福島県在住の親子を神奈川県に招いて行うもので、自然の中で遊び、安全な食事をしてもらうことによって、心身の健康を回復してもらうことを目的として行われています。

詳細は 特集3をご覧ください。

古本の寄付を通じて東北の子どもたちの教育を支援

野村不動産グループでは、2012年より公益社団法人チャンス・フォー・チルドレンの協力の下、社員から募った古本の売却費用を、東北の子どもたちの学校外教育費のために寄付しています。

東日本大震災以降、被災地では、経済格差により教育機会や学力の格差が生まれる傾向が強くなっており、この活動は、子どもたちがより平等な教育と成長の機会を得られるようになることを目的としています。2014年6月現在、2,543冊の本が集まり、塾や習い事の費用として活用されています。

支援先の子どもたち
Photo by Natsuki Yasuda / studio AFTERMODE

岩手県の仮設住宅に、テーブルと椅子を寄贈

野村不動産グループは、「PROUD BOX感謝祭」で展示した「ちょっとテーブル」や「お気に入りの椅子」を岩手県の仮設住宅に寄贈しました。これらは、野村不動産と日本女子大学 篠原聡子教授が開発した『マンションコミュニティのためのデザイン手法100』に基づいてつくられたもので、仮設住宅でのコミュニティ形成に役立っています。

仮設住宅に『マンションコミュニティのためのデザイン手法100』を寄贈

復興支援イベント

「東日本大震災復興支援コンサート」を開催

野村不動産パートナーズは、2013年8月、「国分寺市立いずみホール」（東京都国分寺市）において、東日本大震災復興支援を目的としたコンサート『国分寺Midsummer Jazz Day ～ Sing Swing Sing ～ 』を開催しました。市民にもスタッフとしてご協力いただき、義援金付入場券の販売や募金活動を通じて、総額176,631円の義援金を寄付しました。

ジャズコンサートを開催

東日本大震災の遺児・孤児へのスポーツ支援

メガロスは、東日本大震災の遺児・孤児への支援として、同社が運営する全てのキッズスクールの無料開放を行っています。この取り組みには、一般社団法人日本フィットネス産業協会加盟の1,400クラブのうち557のクラブが参加しています。

物産展および募金活動の実施

「新宿野村ビル」では、東北地方の「観光物産展」を定期的に開催しています。

また、NREG東芝不動産では、テナント（東芝（株））・商店会と共同で開催する「東芝ビル夏まつり」において、東日本大震災復興支援として、募金活動を実施しました。約3,500人の皆さまにご来場いただき、募金は認定NPO法人を通じて全額寄付しました。また、抽選の景品として、被災地の特産品を採用しました。

地域社会への貢献

事業を通じた社会貢献

「かやぶきの里」プロジェクト

野村不動産が、2012年5月より、茨城県筑波山麓において開始した「かやぶきの里プロジェクト」が、「2013年度グッドデザイン賞」三部門（（1）住宅・住宅設備 （2）個人によるNPO活動、コミュニティ活動、社会貢献活動 （3）社会貢献活動、国際貢献活動）を受賞し、ベスト100に選出されました

当プロジェクトは、筑波山麓グリーン・ツーリズム推進協議会、地元NPO法人、つくば市、筑波大学との産官民学共同プロジェクトで、里山体験などを通して、過疎化や少子高齢化が進む農村と都市生活者をつなぎ、環境保全や豊かな里山文化の継承、都市部の子どもたちの環境教育などを目的として行っています。

かやぶきの里

YBPにおける地域清掃活動

YBP（横浜ビジネスパーク）では、周辺地域の美化と地域コミュニティとのコミュニケーション強化を目的として、野村不動産・野村不動産パートナーズ・野村アメニティサービスの社員有志が月に一度、物件周辺エリアの清掃活動を行っています。

心肺蘇生普及活動

メガロスでは、「倶楽部100®」の登録会員に向けて、心肺蘇生法とAED操作法の講習会を2012年より定期的に行っています。「倶楽部100®」は、「100歳まで元気に健康で！」をコンセプトとするメガロスの会員組織です。2013年度は809名の会員が受講し、緊急時の人命救助について学びました。

モリシア津田沼にて「ツダトモプロジェクト」を推進中

ジオ・アカマツが運営を行う商業施設「モリシア津田沼」（千葉県習志野市）では、地域住民が気軽に集まれる場となることを目指し、参加・体験型のイベント「ツダトモプロジェクト」を企画開催しています。不要となったおもちゃを交換し合う「かえっこバザール」はリサイクルの場として地域に定着しており、子どもたちがリサイクルを学ぶきっかけになっています。

「かえっこバザール」でおもちゃをリサイクル

「日本橋室町野村ビル」における取り組み

野村不動産では、地域の皆さまに「江戸・歌舞伎・落語」などを楽しんでいただく「江戸遊学」講座を開催し、「日本橋室町野村ビル」（東京都中央区）を地域コミュニティの拠点として活用しています。また、地元商店街や近隣企業とともに、毎年7月に「名橋『日本橋』を洗う会」に参加し、地域の一員として、日本橋エリアの活性化に貢献しています。

青少年育成への取り組み

小学校児童向け着衣水泳教室の開催

メガロスは、2010年より東京都八王子市内の小学校児童を対象に、水難事故防止を目的とした「着衣水泳教室」を開催しています。2013年度は、約1,100人の児童が参加しました。

インターンシッププログラムの実施

野村不動産では、大学生・大学院生を対象に毎年インターンを受け入れており、2013年8月～9月にかけて行われたプログラムには、延べ68名の学生が参加しました。

プログラムの中では、建築を学ぶ学生のグループに「価値を社会へシェアする住まい」の課題で、実際に事業化予定のマンション計画についてプレゼンを実施してもらい、実務を体験する機会を提供しました。

インターンシッププログラム

香港の大学生が「PMO日本橋」「YUITO」を訪問

2013年7月、香港大学の教授と学生18名が「PMO日本橋」および「YUITO（日本橋室町野村ビル）」を訪問し、物件の環境配慮やBCPなどについて野村不動産と意見交換を行いました。当イベントは、世界各国4万人の会員を持つ非営利研究教育機関「ULI（アーバンランド研究所）」が主催する学生向けアジア都市ツアーの一環として開催されました。

「国分寺市立いずみホール」における次世代育成活動

野村不動産パートナーズは、NPO法人 子ども劇場東京都協議会の協力を得て、「国分寺あそびあーと」を設立し、管理運営を行う「国分寺市立いずみホール」において、定期的にアート体験などのイベントを行っています。

このイベントは、地域コミュニティ活性化支援の一環として行われ、地域の子どもや親子を対象に、アート体験を通じた交流や豊かな感性を育むことを目的としています。

「ロバロバフェスティバル」

「薬物乱用防止キャンペーンin横濱」への協賛

野村不動産は、2011年より、「薬物乱用防止キャンペーンin横濱」に協賛しています。当キャンペーンは、社団法人横浜市薬剤師会と横浜薬科大学が中心となり、若い世代への啓発を目的として開催されたものです。